

ナタリー・シュトゥッツマン [コントラルト*] シューベルトを歌う～室内楽伴奏とともに～



公演によせて

今回の公演は、最高峰の室内楽の殿堂として名高く、コンサートホールとして初めて「第47回(2015年度)サントリー音楽賞」を受賞したトッパンホール(東京都)の企画制作協力を得て実施します。

トッパンホール主催の公演は、質が高いのはもちろんのこと、信念のある曲目選定により、アーティストや聴衆から絶大な信頼を得ています。

この「ナタリー・シュトゥッツマン シューベルトを歌う」公演企画は、シュトゥッツマン氏がトッパンホールのプログラミング・ディレクター西巻正史氏へ長年温めていたプロジェクト【シューベルトの歌曲を厳選して、シュトゥッツマンの友人である作曲家カルコフ氏が室内楽伴奏版へ編曲し、世界初演する】として相談したところからスタートします。西巻氏は、「このチャレンジによりシューベルトの歌曲の魅力がよりクローズアップされたり、普段歌曲を聴かない人への導入になったりする」と考え、開催を決定しました。iichiko総合文化センターはその趣旨に賛同し、九州で唯一、開催することいたしました。

—演奏曲目—

シューベルト (イングヴァル・カルコフ編) Schubert(arr. Ingvar Karkoff)

あこがれ Sehnsucht D879

セレナーデ Ständchen D957-4 弦楽四重奏

音楽に寄す An die Musik D547 弦楽四重奏

さすらい人 Der Wanderer D493 ピアノ五重奏

弦楽四重奏曲第13番 イ短調 D804《ロザムンデ》より第2楽章 アンダンテ

Andante aus Streichquartett Nr.13 a-Moll D804 "Rosamunde"

死とおとめ Der Tod und das Mädchen D531 ピアノ五重奏 ほか

現代もっとも優れた音楽家の一人に挙げられるナタリー・シュトゥッツマンは、コントラルト歌手とオーケストラ指揮者の2つのキャリアで活躍している。自由さと厳密さを併せ持つ彼女のアプローチ、フレージングの知識、そして演奏に込められた激しい感情。これらが聴衆からも、彼女が指揮するオーケストラからも絶大な支持を集めている。

歌手としてはマーラー作品の歌唱には特に定評があり、最近では、サー・サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィル、ユッカ=ペッカ・サラステ指揮オスロ管、クリストフ・エッセンバッハ指揮ワシントン・ナショナル響、大野和士指揮ロンドン・フィルなどと共演している。また、リサイタルでも高く評価されており、長年にわたりスウェーデンのピアニスト、インゲル・ゼーデルグレンと共に世界各地で公演している。

フランス共和国は彼女に芸術文化勲章と国家功労勲章を授与している。また、ジュネーヴ州立高等音楽院の教授として後進の指導にもあたっている。

現在、オルフェオ55芸術監督、パリ室内管弦楽団アソシエイトアーティスト。

*コントラルトとは、女声の一番低い音域で、現在は、アルトと同じ意味で用いられています。

《共演者》

四方恭子 Kyoko Shikata (ヴァイオリン) 東京都交響楽団ソロ・コンサートマスター

瀧村依里 Eri Takimura (ヴァイオリン) 読売日本交響楽団首席奏者

鈴木 学 Manabu Suzuki (ヴィオラ) 東京都交響楽団ソロ首席奏者

大友 肇 Hajime Otomo (チェロ) クアルテット・エクセルシオ チェロ奏者

インゲル・ゼーデルグレン Inger Södergren (ピアノ)



2017年5月9日(火) 開場18:30 開演19:00

iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール

びび3,600円 一般4,000円 U25割2,000円

チケット発売日

びび 2/12(日) 10:00～

一般 2/19(日) 10:00～

※予約後の変更、キャンセルはお断りしています。U25割は、iichiko総合文化センター1Fインフォメーション、HPのみ販売。未就学児不可(先着10名の無料託児あり)。びび割とU25割の併用なし。上演中のご入場制限あり。やむを得ない事情により出演者等の変更の場合があります。

主催・問合せ：iichiko総合文化センター [(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]

大分市高砂町2-33 097-533-4004 www.emo.or.jp

企画制作協力：トッパンホール